

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

群馬県桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	34,089	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

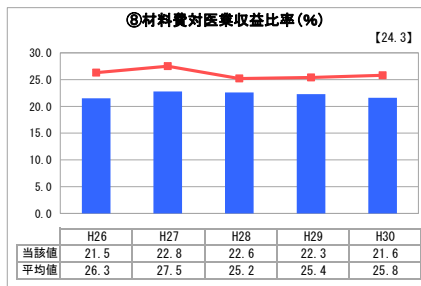
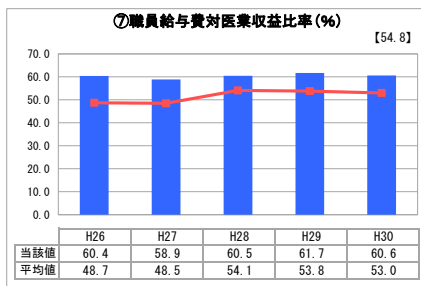
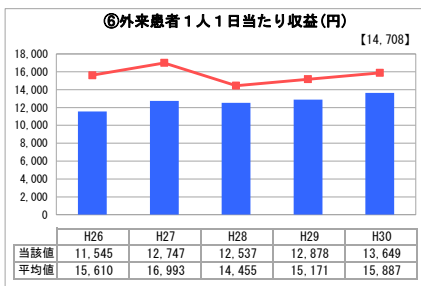
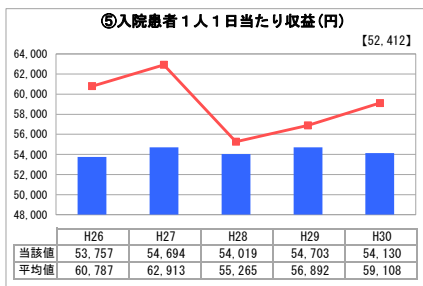
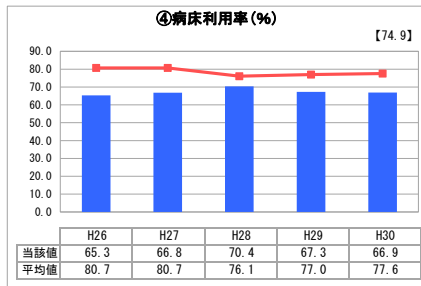
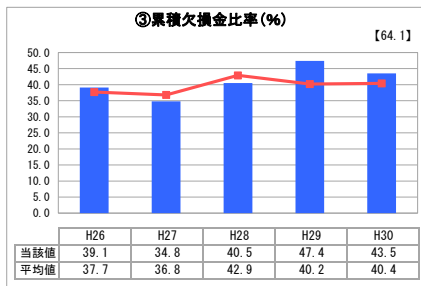
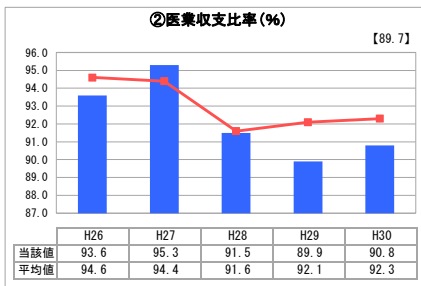
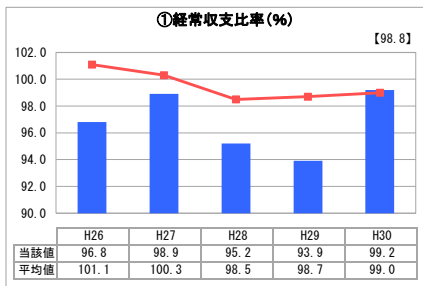
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
467	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	471
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
462	-	462

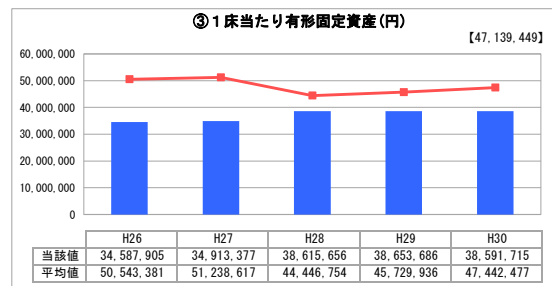
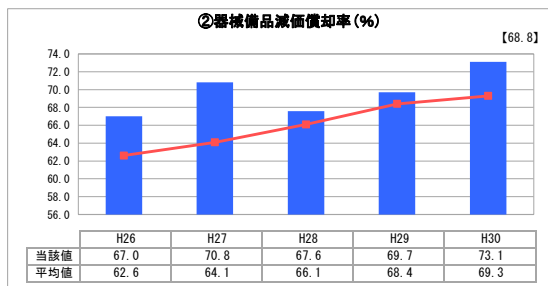
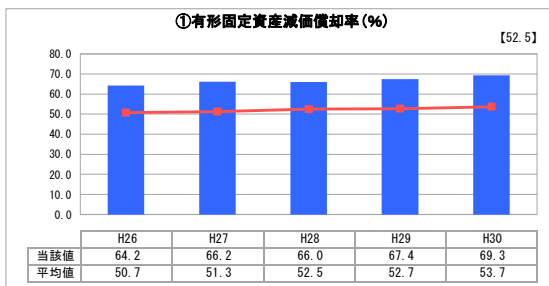
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

公立病院である当院は、地域の中核医療機関として、他の医療機関では提供することが困難な不採算部門の医療を提供しており、地域の医療機関と連携し地域完結型医療の充実を図る。具体的な役割は、①急性期医療の充実②救急医療の充実③周産期医療、小児医療（含むNICU・GCU）の充実④災害拠点病院として後方支援体制の充実⑤第2種感染症指定医療機関としての感染症療養の提供⑥集中治療体制（ICU/CCU）の充実⑦地域がん診療連携拠点病院としてがん医療（予防・診断・治療・社会的支援）の充実⑧地域医療支援病院として、地域の行政、医療・介護・福祉機関等との連携及び地域における教育研修機能や地域支援活動の充実⑨急性期/回復期医療の充実⑩地域包括ケアシステム実現に向けた医療の提供⑪医療の質の向上⑫患者サービスの向上⑬運営の効率性があげられる。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・常勤医師の減少（前年比▲6名）に伴い、入院患者数の減少等により医業収益が悪化。入院・外来ともに1人1日当たり収益が類似病院平均より低い。当院の周辺地域では医師不足は厳しい状況ではあるが、今後も他の病院・診療所との連携を図り、患者数増加に努めていきたい。
- ・医業収益減少により、職員給与費対医業収益比率も類似病院と比較して高い水準にある。管理職手当の10%削減等（医師・歯科医師除く）を引き続き継続していく方針。
- ・医業収支を早期に改善し、類似病院平均値になるよう努力していきたい。

### 2. 老朽化の状況について

- ・高度化する医療への対応にも配慮し、中・長期的な計画による施設設備の充実、更新を継続的に実施しており、質の高い安全な医療の提供を心掛けている。
- ・有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院平均値よりも高い水準にあり、特に施設面での老朽化が進んでいる。1床当たり有形固定資産は前年度並みで、類似病院平均値より低い。

## 全体総括

今後も地域住民に必要とされる病院となるため、高度・専門及び救急医療を提供するとともに、国が求める地域医療構想の実現に向けて回復期・地域包括ケアを活用することにより、在宅療養支援なども含めた地域完結型医療の中心的な役割を担えるような病院を目指していく。また、病床利用率向上など一層の経営努力・効率化を進め地域の医療機関や構成市と連携を図りながら経営基盤の強化を図ってきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。